

## 福岡県ジェネリック医薬品使用促進協議会について

開催日時：2023年2月10日（金）14:00～16:00

場 所：福岡県庁

形 式：対面開催

発 表 者：畑田 康 氏（日本ジェネリック製薬協会 政策委員会渉外グループ）

概 要：テーマの内容に関して約10分発表後、質疑応答

\* ご意見・質疑応答・要望など、各委員にて発表時間を超える闊達な議論が行われた。

### 【議題】

1. 令和4年度上半期ジェネリック医薬品流通実態調査の結果について
2. 令和4年度の福岡県ジェネリック医薬品使用促進事業の実施報告及び次年度の事業計画案について
  - ・ 子ども及びその保護者への啓発事業について
  - ・ レセプト分析について
  - ・ 事業スケジュール
3. その他
  - ・ 厚生労働省の動向について
  - ・ ジェネリック医薬品の信頼回復に向けた取組み（GE薬協）

### 【事前に頂いたご質問】

- ・ 前回からの変更点について
- ・ 供給問題の解消の目途について、半年や1年の単位で見通しがあるかどうか
- ・ 各社で行われた増産対応の規模等、実績があったら教えてほしい

### 【質問および要望】

- ・ QAセンターとはどのような組織か
- ・ 先発・ジェネリック医薬品ともに特定疾患・重要疾患についての品不足が顕著になっている。原因をはっきりと説明（原薬・類縁物質）してもらえると、おおよその供給スケジュールが予測できるので教えてもらいたい。
- ・ 例えば、デパスなどは患者が名前を周知しており、なかなかジェネリック医薬品に変更できないケースがあるので困っている。（ロキソプロフェンテープやケトプロフェンテープも同様）
- ・ 供給調査はどのような調査か（供給できない理由を明示してもらいたい）
- ・ いきなり中止案内がきて、代替品もない事がある。代替品を用意して中止案内をしてもらいたい。

- ・ これまでは、個別通知（差額通知）を行いながら、ジェネリック医薬品の普及促進を進めてきたが、供給不安から昨年度は中止している（健康保険組合連合会）。ぜひ、この供給不安を一日でも早く解消してもらいたいと思っている。
- ・ DSJPの供給情報と、日本ジェネリック製薬協会の供給情報サイトの両方を見比べながら活用している。今後ともGE薬協の供給サイトの充実をお願いしたい。
- ・ 子供と保護者への取組みを強化していかなければならないが、例えば、特定の薬剤について「この品目については、供給不安がない」とわかれば、進めやすい。